

12月1日

世界エイズデー UPDATE!

世界エイズデー2019年テーマ

No.99 2019年11月

HIV/エイズに関する正しい知識を身につけ、自分の「となり」にある身近なものとして語り合い、検査・治療・支援の輪を広げましょう！！

2018年1年間の日本の新規HIV感染者報告数は940件、AIDS患者は377件で、両方をあわせた新規報告件数は1,317件でした。新規HIV感染者は、20歳～30歳代に多く、新規エイズ患者は、40歳代に多くみられました。

治療法は確実に進歩しています。HIV感染を早期発見し、早期治療を受ければエイズの発症を防いで、感染していない人と同じくらい長く、健康的な社会生活を送ることが出来ます。

HIVに感染していても自覚症状はありません。検査を受けることが重要です！

保健所では、匿名・無料で検査が出来ます。「セルフ検査キット」は、有料(3000～5000円位)ですが、自宅で検査をすることができます。HIV感染の疑いがあると判定された場合は、医療機関への相談が必要です。

下記のホームページより相談・無料検査を実施している医療機関を探すことができます。

HIV検査相談マップ <http://www.hivkensa.com/>

❁ HIVとAIDSのちがい

HIV(Human Immunodeficiency Virus) ヒト免疫不全ウイルスと訳されます。HIVはヒトの白血球に侵入し、徐々に増殖を続け、白血球を破壊し続けます。HIVが増殖を続けると、自分の体を守る免疫力が落ちていきますが、自覚症状もなく潜伏期間に入ります。感染していることがわからず、人に感染させます。

AIDS(Acquired Immunodeficiency Syndrome) 後天性免疫不全症候群と訳されます。HIVに感染することによっておこる病気です。抵抗力が低下して、健康な時には問題がなかった病原体、細菌に抵抗することができなくなり、AIDSの特徴的な病気であるニューモシスチス肺炎や、カポジ肉腫などを発症するとAIDSと診断されます。

感染ルート

性的接触、HIVに感染した血液(注射器の共有等)、母子感染、の3ルートです。

主な感染ルートは性的接触です*入浴や日常生活の色々なコミュニケーション等では感染しません。

治療

抗HIV薬3剤を組み合わせた抗レトロウイルス療法が基本です。現在は、体の中のHIVウイルスを完全に排除することはできませんが、エイズ発症前、HIV感染後早期に適切な治療を受ければ、感染前と変わらない日常生活を送ることができます。

感染予防

HIVの90%以上は性的接触で感染しています。コンドームは感染予防の必需品です。信頼のおけるメーカーで製造された品質保証期間内のコンドームを正しく使うことが、感染を防ぐ有効な手段です。

保健室には、HIV検査施設案内、性感染症に関するパンフレットを常置しています。